

当社取引先の方をはじめ、読者の方にご登場いただき、ご紹介させていただきます。

第181回 株式会社 常盤

更なる躍進を目指して ～社員と共にビジョンを描いて～

(株)常盤さんも所属なさっているある医療機器メーカーの協会で『バトルクレーン』というビジネスゲームを使った研修をまたやりたいということで湯浅社長にお目にかかりに伺いました。(バトルクレーンについては、Information Cornerをご覧ください)

湯浅社長には2014年4月号でこのコーナーにご登場いただいているのですが、10年ほど経ちますので最近の動向などもお伺いすることにしました。



湯浅社長

事業ドメイン(事業領域)の拡張

同社は樹脂加工を中心にいろいろなメーカーからの各種精密部品の製作を請け負ってこられました。展示会にもよくに出展なさっており、関西のみならず関東や九州方面をはじめ全国レベルで事業展開されています。

2020年には設計子会社を立ち上げ顧客のいろいろな要望に応えられる体制を整えてこられました。またそれを踏まえ個人からの制作依頼も受けるようにされてきており、BtoB から BtoC へ事業領域を拡張されてきておられます。SNSも積極的に活用されており、Instagramも2,500人ほどのフォロワーを擁する状況になっています。[\(https://www.instagram.com/tokiwa_co_ltd/\)](https://www.instagram.com/tokiwa_co_ltd/)



TOKIWA PROJECT

同社では 2025年 8月を目指してプロジェクトが進行しています。草津工場に隣接して新工場を建てるのを機に新しい取組を始めようとなさっていて、その取組が始まるまでの期間を「TOKIWA PROJECT」と題していろいろな活動をなさっています。

そのひとつに noteでの発信があります。noteとは文章、写真、イラスト、音楽、映像などを手軽に発信できるブログのようなサービスです。そのnoteで「TOKIWAラボストーリー」という物語を発信されています。

なぜこのプロジェクトを立ち上げようとしているのか、そのいきさつから現在に至るまでを物語風に書いておられます。そして更に現在進行形でストーリーが展開されており、大変興味深く読むことが出来ます。

https://note.com/tokiwa_project

プロジェクトの中身に興味をそそられますが、2025年の新工場建設に向けて、活発に活動されておられる同社の躍進に期待しております。(米田)

会社概要 株式会社 常盤



代表取締役 湯浅 厚二 様
会社の所在地 〒601-8176 京都市南区上鳥羽山ノ本町 298 番地
TEL 075-671-9888 FAX 075-672-8606
事業内容 各種樹脂・アルミ材による精密切削部品製造・販売
HP <https://tokiwa1983.co.jp/>

編集後記

今年もIT導入補助金の季節がやってきました。補助金があるからなにかを買うのではなく、なにかを買いたい時に利用できる補助金があるというのが本来の形だと思います。その点、IT導入補助金はシステム導入を検討されているところにとっては大変利用価値の高い補助金です。システムの導入を検討されておられるところは是非ご活用を!

[Sys:port]. シスポート株式会社

〒610-0361 京都府京田辺市河原平田23-16
Tel.0774-63-1131(代) Fax.0774-63-1130
<https://www.sysport.co.jp>

このQ-infoは、お取引先様をはじめサポートスタッフがいろいろとお世話になっている方、Replyシートで購読のご希望をいただいた方、サポートスタッフが最近名刺交換をさせていただいた方などにお送りしております。

ご意見、ご感想や送付の要否などは添付のReplyシート(QRコードからのWebフォーム)でお聞かせ下さい。

2025年2月発行
第206号
SINCE 2008.1

スタッフのつぶやき

今年の3月で入社3年目に突入致します営業部の城本です。

中途入社で全く業界未経験ながらもなんとかしがみついて3年。色々転職してきた私ですがこれでサポートが2番目に長く勤めている会社になりました。

1番長く勤めていたのは某CDショップで約7年。音楽よりも接客が好きで入社しましたが続けていくうちに音楽が生活に欠かせないほど大きなものになり、退職して数年たった今もそれは変わっていません。

そんなに重視していなかったものが欠かせないものになるんですから「継続」って大切だよなあと思えます。

継続といえば仕事以外で筋トレに励んでおります。

筋トレと言ってもそんなにガッツリのものではなく30分程度の軽い自重トレーニングなのですが、これは一向に好きになれません。

でももう3ヶ月以上続けているもんですから動かさないと罪悪感というか勿体ないというか変な感情になり、半泣きになりながら続けております。

いつか音楽のように好きになれるんでしょうか…。

筋トレもダイエット目的ではなく引き締めるのが目的なので、久しぶりにお会いする時には色んな意味で大きくなった私を見てやってください。

以上、結婚生活も3月で2年目突入、こちらはもちろん順調に継続している城本でした。

営業部 城本 悠太

“一丁囃”が行く!

第191回: SMS 認証



『「SMS認証、破られるリスク」米政府機関が注意喚起』という記事が目に入りました。

それによると、米国のサイバーセキュリティーを担当する政府機関は、ショートメッセージサービス(SMS)を使った認証について「外部から傍受される恐れがあり、強力な認証にならない」と注意喚起する声明を公表し、認証アプリなどの利用を推奨している。とのこと。

SMS認証とは、本人確認を正しく行うための認証システムの一つで、ユーザーのスマホや携帯電話にSMSを送信し、そこに記載された「4桁の数字」などの一時的な確認コードをWeb上で入力することで、本人確認を行う手法のことです。

Webサイトにログインする際などによく用いられている手法で、皆さんも経験されていることと思います。それがセキュリティ上あまりよろしくないという。

そこで、専用アプリを使って認証する方法とか、顔認証などの生体認証を使うとかが用いられるようになってきています。

当社が積極的に取り組んでいるIT導入補助金においても、

いままでもSMS認証を使っていましたが、今年度からGビズIDアプリを使う方法に変わります。

行政のサイトでは、『GビズIDログイン時のSMSを用いたワンタイムパスワード認証は2025年3月をもって廃止する予定。今後は「GビズIDアプリ」を用いたアプリ認証への切替をお願いします。』と書いてあります。

GビズIDアプリの使用は、セキュリティの強化のみならず、なりすましの防止にも効果がある方法かも知れません。GビズIDアプリは、以下からダウンロードして下さい。



行政系の申請を行う方は、早めにダウンロードしておいて下さい。(一丁囃)

お願い

Replyシートの回答をお願いします。本誌を紙ベースでお送りしている方には、紙ベースのReplyシートを添付しております。また、メールでお送りしている方にはメール本文に記載しています。また、右のQRコードから回答できるようになりました。皆様方のご意見、ご意向などをお聞かせ下さい。



2025年度 IT導入補助金の概要が決まりました

2025年度も昨年度とほぼ同様の内容で実施されます。

<活用イメージ・補助率等> (赤字は令和6年度補正予算での拡充点)

枠/類型	通常枠	複数社連携IT導入枠	インボイス枠		セキュリティ対策推進枠
			インボイス対応類型	電子取引類型	
活用イメージ	ITツールを導入して、業務効率化やDXを推進	商店街など、複数の中小企業・小規模事業者で連携してITツール等を導入	ITツール等を導入してインボイス制度に対応	発注者主導で取引先のインボイス対応を促す	サイバーセキュリティ対策を進める
補助対象経費	ソフトウェア購入費、クラウド利用料(最大2年分)、導入関連費(保守サポートやマニュアル作成等の費用に加えて、IT活用の定着を促す導入後の「活用支援」も対象化)	ハードウェア購入費	クラウド利用料(最大2年分)	クラウド利用料(最大2年分)	サイバーセキュリティお助け隊サービス利用料(最大2年分)(※1)
補助額	・ITツールの業務プロセスが1~3つまで: 5万円~150万円 ・4つ以上: 150万円~450万円	(a)インボイス枠対象経費: 同右 (b)消費動向等分析経費: 50万円×グループ構成員数 (a)+(b)合わせて3,000万円まで (c)事務費・専門家経費: 200万円	ITツール: 1機能: ~50万円 2機能以上: ~350万円 PC・タブレット等: ~10万円 レジ・券売機等: ~20万円	~350万円	5万円~150万円
補助率	中小企業: 1/2 最低賃金近傍の事業者(※2): 2/3	(a)インボイス枠対象経費: 同右 (b)・(c): 2/3	~50万円以下: 3/4 (小規模事業者: 4/5) 50万円~350万円: 2/3 ハードウェア購入費: 1/2	大企業: 1/2 中小企業: 2/3	中小企業: 1/2 小規模事業者: 2/3

(※1) (独)情報処理推進機構 (IPA) 「サイバーセキュリティお助け隊サービス」に掲載されたサービス。
(※2) 3か月以上地域別最低賃金+50円以内で雇用している従業員数が全従業員数の30%以上であることを示した事業者。

当社にて申請対象となる応募枠(類型)は、「通常枠」と「インボイス対応類型」です。(上記一覧表の中の青枠部分)

インボイス対応類型 インボイス対応類型は、通常枠に必要な労働生産性向上計画の策定が不要、申請項目が少ない、導入後数年にわたる経過報告が不要、パソコンも補助対象になるなどメリットが多い類型です。

少ない自己負担 100万円のソフトと20万円のパソコンを導入する場合、補助金が約82万円出るので自己負担は38万円ほどで済みます。(インボイス対応類型の場合)

高い採択率 昨年度、予算が枯渇したのではないかと感じるほど採択率が極端に低かった最終締切を除いて、採択率は全国平均でなんと93.7%(当社申請分 100%)でした。(インボイス対応類型の場合)

いつから始まる? 3月上旬~中旬に公募が開始されると思われます。例年は翌年1月頃まで公募されるのですが、昨年は突如、8月に締切が発表され、最終回は10/15でした。 **システム導入をお考えの方は、早めに申請準備を行って下さい**

IT導入補助金説明会

2025年2月26日(水) 14:00~
京都経済センターにて

参加申込みは [こちら](#) から



ものづくり企業を丁寧に繋ぐBtoBマッチング

京都ビジネス交流フェア2025

BtoBに特化した京都最大の展示商談会

に出展します

「ものづくり/情報関連企業」195社20団体が一堂に展示

開催期間 2025年2月13日(木)~14日(金) 10:00~17:00

開催場所 京都パルスプラザ(京都府総合見本市会館)

地下鉄「竹田」駅から会場まで無料シャトルタクシーを随時運行



ものづくり展示	金属加工・表面処理・熱処理・樹脂加工・木工加工・その他
開発製品展	計測・検査・ヘルスケア・AI・IoT・DX・FA・新素材・等
グループ(団体)・組合/産学連記展示/DX事例パネル展示など	

来場の際は事前登録をお願いします。事前登録はこちらから

生産管理システム「Assist」を中心にサポートプロダクトを展示/デモします

AI・IoT・DX・FAコーナーのブース No. **B-013**



<https://www.ki21.jp/bp/>

第3回 バックオフィス DXPO 大阪'25

に出展します

管理部門の業務効率化・DX推進のための展示会

総務・人事・経理など管理部門必見の8展を同時開催!

- 経営支援・DX推進展
- 働き方改革・健康経営展
- 総務ソリューション展
- 人事・労務システム展
- 採用・研修ソリューション展
- 経理・財務システム展
- 電子契約・法務システム展
- RPA・業務プロセス自動化展

DX分野関西最大級の410社※が出展

※前半2日間(3/11~12)+後半2日間(3/13~14)の合計出展見込社数

<https://dxpo.jp/real/box/osaka/>

ご来場の際は上記HPから事前登録して下さい(入場料5,000円が無料になります)

開催期間 2025年3月11日(火) 9:30~18:00

3月12日(水) 9:30~16:00

開催場所 インテックス大阪 4・5号館

大阪メトロ南港ポートタウン線「中ふ頭」駅下車

販売管理システム「はんぱい30」を中心に **経理・財務システム展** 【4号館】のブースにてサポートプロダクトを展示/デモします。